荘島小学校だより　第 7 号　令和 4 年 6 月 21 日

わだつみ

久留米市立荘島小学校　校長

水泳の授業３年ぶりに再開へ

６月１５日（水）、５・６年生がプール掃除を行いました。５年生がプールサイドや更衣室などをピカピカに掃除をしました。６年生は大プールに入って、一生懸命に去年の汚れやぬめりを取り除きました。

これで、今年のプールも気持ちよくできそうです。

さて、新型コロナウイルスの感染防止のため２０２０年から２年にわたり水泳の授業を中止していましたが、「水泳の授業を二年間やらない影響はとても大きい」「泳力を身に付けることは、自分の命を守る意味でも大切」と考え、３年ぶりに水泳授業を行います。感染対策を行いながらすすめますが、不安を感じる保護者の方がおられるかと思います。その際は遠慮なくご連絡ください。

また、水泳学習を前に消防署職員の方々を講師にお迎えし、全職員で救命救急講座を受けました。胸骨圧迫やＡＥＤの使用方法を学ぶとともに、救急車を要請した場合のシュミレーションを行いました。安心で安全な水泳学習を行っていきたいと思います。

安心・安全な水泳学習を行うために

- ２クラス同時に行わず、１クラスずつ行います。
- 更衣室やシャワーでは、身体的距離を確保していくよう指導します。
- ギリギリまでマスクをし、プール用マスクも使用可とします。
- 3年ぶりの水泳学習ということから、学年を下げた指導内容からスタートします。
- 水位を下げ、プールに慣れることから始めていきます。

薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』

6月2日（木）警察や久留米市青少年育成課等の方々が来られて、6年生を対象に薬物乱用防止教室が行われました。

（１）覚醒剤を始めとする薬物の乱用は精神と身体の両面に

深刻な悪影響を及ぼす（2）脳の正常な発達を止め、精神のバランスを悪くさせるため、脱力感、疲労感、幻覚、妄想といった精神障害や、脳を始めとする身体の主要器官に深刻な悪影響を及ぼす　等のお話がありました。近年、若年層の大麻利用が顕著だとか。大人の私達が、しっかり危険性を教えていく必要があります。

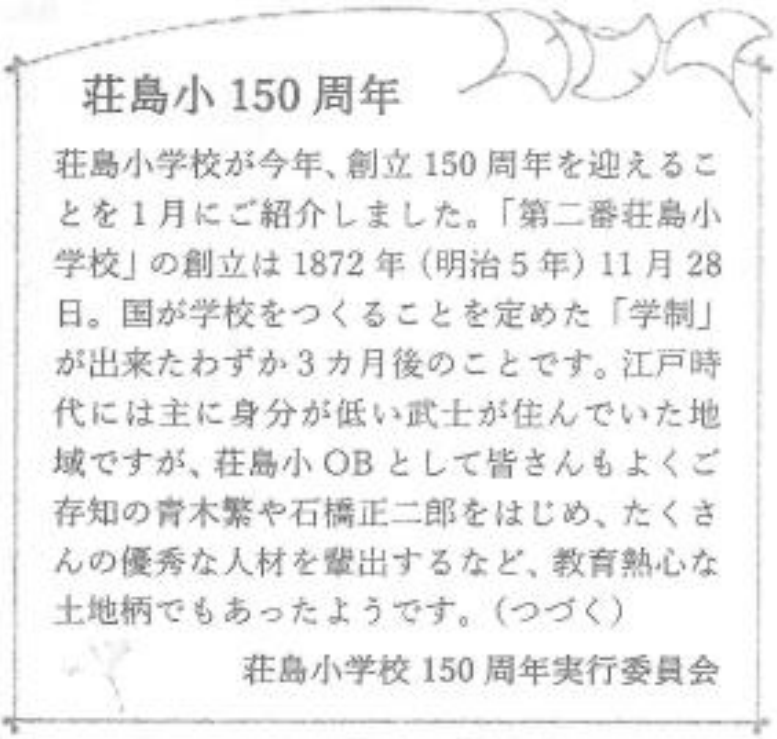
夏季における児童のマスクの着用について

文部科学省や県教育委員会から「熱中症リスクが高い体育の授業や運動部活動の活動中、登下校時は、特にマスクを外す指導を徹底する」よう通達が来ています。子ども達には、熱中症の危険性を伝えるとともにマスクを外した場合、できるだけ距離を空ける、近距離での会話を控えるといったことを伝えています。

子ども達はマスクをつけることが習慣になっています。外すことに抵抗を感じているようです。学校でも指導していきますが、ご家庭でも熱中症が命に関わる重大な問題であることを伝え、声をかけていただけると助かります。尚、様々な理由からマスクの着用を希望する場合は、担任までお知らせください。

荘島小学校の歴史を伝える

荘島校区まちづくり委員会だより「広報　荘島」に、荘島小学校150周年実行委員会による荘島小学校の歴史を伝える連載（執筆：森久様）が始まっています。私も楽しみにしているところです。是非、ご覧ください。



荘島小 150 周年

荘島小学校が今年、創立 150 周年を迎えることを 1 月にご紹介しました。「第二番荘島小学校」の創立は 1872 年（明治 5 年）11 月 28 日。国が学校をつくることを定めた「学制」が出来たわずか 3 カ月後のことです。江戸時代には主に身分が低い武士が住んでいた地域ですが、荘島小 OB として皆さんもよくご存知の青木繁や石橋正二郎をはじめ、たくさんの優秀な人材を輩出するなど、教育熱心な土地柄でもあったようです。（つづく）

荘島小学校 150 周年実行委員会